

「医療保険者等向け中間サーバー等」
中間サーバーシステム操作マニュアル
(医療保険者)
【更新日：令和3年5月25日】

5. 保険者定義情報管理

目次

5 保険者定義情報管理.....	1
5.1 前提条件.....	1
5.2 利用目的.....	2
5.3 文字コード変換.....	3
5.3.1 中間サーバー等で使用できる文字コード.....	3
5.3.2 文字コードを更新する.....	4
5.3.3 業務コードを更新する.....	9
5.4 加入者情報定義設定.....	16
5.4.1 加入者登録等に利用するファイル形式を設定する.....	16
5.4.2 加入者情報一覧ファイルへの個人番号の出力可否を設定する.....	18
5.5 情報照会定義設定.....	21
5.5.1 情報照会を利用するファイル形式を設定する.....	21
5.5.2 情報照会結果の出力単位(世帯単位・個人単位・照会要求単位)を設定する.....	24
5.5.3 情報照会状況の表示の並び順を設定する.....	28
5.5.4 情報照会状況の表示項目の「表示・非表示」を設定する.....	31
5.6 情報照会事務事前登録管理.....	36
5.6.1 情報照会(単件)の事務手続を絞り込むキーワードを事前登録する.....	36

5 保険者定義情報管理

「保険者定義情報管理」は、保険者（基幹）システムの更改等により、文字コード又は業務コードが変更された場合に、中間サーバー等に登録している文字コード又は業務コードを更新するための機能です。

なお、更新した文字コード及び業務コードは、翌日に反映されますので、事前に更新するようにしてください。文字コード及び業務コードを更新した当日に「加入者情報一括登録ファイル（CSV）」等の登録を行った場合、文字化け、処理エラー又は誤った変換処理が発生することがあります。

また、医療保険者等のニーズや保険者（基幹）システムの仕様に応じた定義情報の設定方法等について説明します。

5.1 前提条件

本操作は、「システム管理者」の権限を有する方が利用可能です。

表 5-1 共通メニューと制約事項

メニュー (第 1 階層)	メニュー (第 2 階層)	制約事項
保険者定義情報管理	文字コード管理	特にありません。
	業務コード管理	
	加入者情報定義設定	
	情報照会定義設定	
	情報照会事務事前登録管理	

5.2 利用目的

「保険者定義情報管理」を使用して行う操作と目的を説明します。

表 5-2 保険者定義情報管理を使用して行う操作と目的

項番	操作	目的	参照先 ページ
1	文字コードを更新する。	保険者（基幹）システムの更改等により、文字コードに中間サーバー等の標準文字コード UTF-8 以外を利用する場合、中間サーバー等に登録している文字コード情報を更新する。	5-4
2	業務コードを更新する。	保険者（基幹）システムの更改等により、業務コードが変更された場合、中間サーバー等に登録している業務コード情報を更新する。	5-9
3	加入者登録等に利用するファイル形式を設定する。	加入者情報インターフェイスの新旧を切り替えるための設定を行う。	5-16
4	加入者情報一覧ファイルへの個人番号の出力可否を設定する	加入者情報一覧ファイル（新加入者情報ファイル形式のみ）への個人番号の出力可否を設定する。	5-18
5	情報照会に利用するファイル形式を設定する。	情報照会インターフェイスの新旧を切り替えるための設定を行う。	5-21
6	情報照会結果の出力単位（世帯単位・個人単位・照会要求単位）を設定する。	情報照会結果の出力条件（世帯単位、個人単位、照会要求単位）の設定を行う。	5-24
7	情報照会状況の表示の並び順を設定する。	情報照会状況一覧の表示の並び順の設定を行う。	5-28
8	情報照会状況の表示項目の「表示・非表示」を設定する。	情報照会状況一覧の表示項目の表示・非表示の設定を行う。	5-31
9	情報照会（単件）の事務手続を絞り込むキーワードを事前登録する。	情報照会（単件）の事務手続を絞り込むキーワードの事前登録を行う。	5-36

5.3 文字コード変換

5.3.1 中間サーバー等で使用できる文字コード

中間サーバー等で使用できる文字コードを以下に示します。

(1) 使用できる文字

使用できる文字は、「JIS X 0221:2007 (ISO/IEC 10646 (UCS))」における「UCS-4」の範囲のうち、附属書 JA「日本文字部分レパートリ」に規定する以下の内容です。

- ・BASIC JAPANESE (基本日本文字集合)
「JIS X 0201:1976」及び「JIS X 0208:1997」に相当する基本部分集合
- ・JIS2004 IDEOGRAPHICS EXTENSION (JIS2004 拡張漢字集合)
「JIS X 0213:2012」の第3水準及び第4水準漢字部分に相当する拡張用の部分集合
- ・JAPANESE NON IDEOGRAPHICS EXTENSION (拡張非漢字集合)
「JIS X 0213:2012」の非漢字部分(ただし、「JIS X 0208:1997」にも含まれるものを除く)に相当する部分集合

(2) 文字入力時の注意事項

中間サーバー等では、使用できる文字以外の文字が画面から入力された場合、外字扱いとなり、エラーとなります。「表 5-3 入力エラーに気づきにくい文字」に事例を示します。

また、ファイルによるデータ登録においてデータ内に「JIS X 0213:2012」に含まれていない文字が記録された場合は、外字の無害化(「●」文字への置換)が行われます。ただし、当該外字の無害化の例外として、文字コードが(U+2015)「ダッシュ」、(U+2011)「ハイフン」、(U+FF0D)「マイナス」の文字については、文字コード(U+2010)「ハイフン」の文字へ置換を行います。

表 5-3 入力エラーに気づきにくい文字 (画面入力の場合)

項番	事例	説明												
1	<p>加入者情報の「住所」を登録するにあたり、住所の区切り文字として「- (マイナス)」を入力すると「住所」に利用できない文字が入力されています」とエラーメッセージが表示されます。</p> <p><入力例> 「東京都千代田区一丁目1番地1」を「東京都千代田区一丁目1-1」と略して登録する。</p>	<p>「-」と見える文字には、「長音」、「ダッシュ」、「ハイフン」及び「マイナス」があり、その中で(U+2015)のダッシュ、(U+2011)のハイフン、(U+FF0D)のマイナスは、「JIS X 0213:2012」に含まれていないため、外字が入力されたとしてエラーとなります。この場合、「JIS X 0213:2012」に含まれている文字を漢字変換候補から選択してください。</p> <p><漢字変換候補例></p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>1</td> <td>—</td> <td>(U+2015) ダッシュ</td> <td>使用不可</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>-</td> <td>(U+2011) ハイフン</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>-</td> <td>(U+FF0D) マイナス</td> <td></td> </tr> </table>	1	—	(U+2015) ダッシュ	使用不可	2	-	(U+2011) ハイフン		3	-	(U+FF0D) マイナス	
1	—	(U+2015) ダッシュ	使用不可											
2	-	(U+2011) ハイフン												
3	-	(U+FF0D) マイナス												

5.3.2 文字コードを更新する

保険者（基幹）システムの更改等により、文字コードに中間サーバー等の標準文字コード UTF-8 以外を利用する場合は、中間サーバー等に登録している文字コードを更新する必要があります。本節では、文字コードを更新する場合の操作を説明します。

表 5-4 文字コードを更新する場合の操作概要

項番	操作概要	事前準備内容
1	文字コードを更新する。	保険者（基幹）システムの文字コードの確認

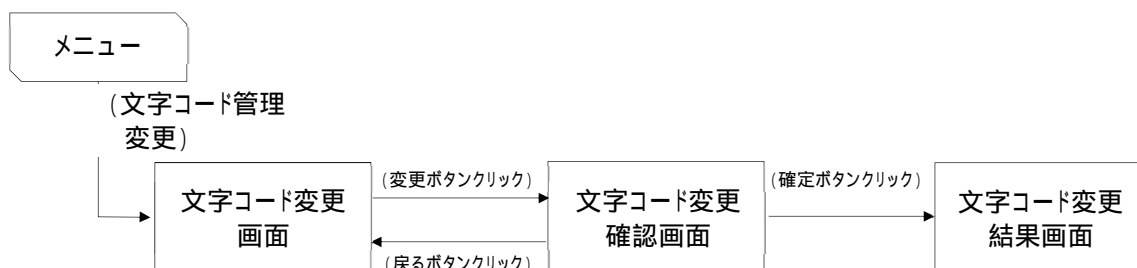
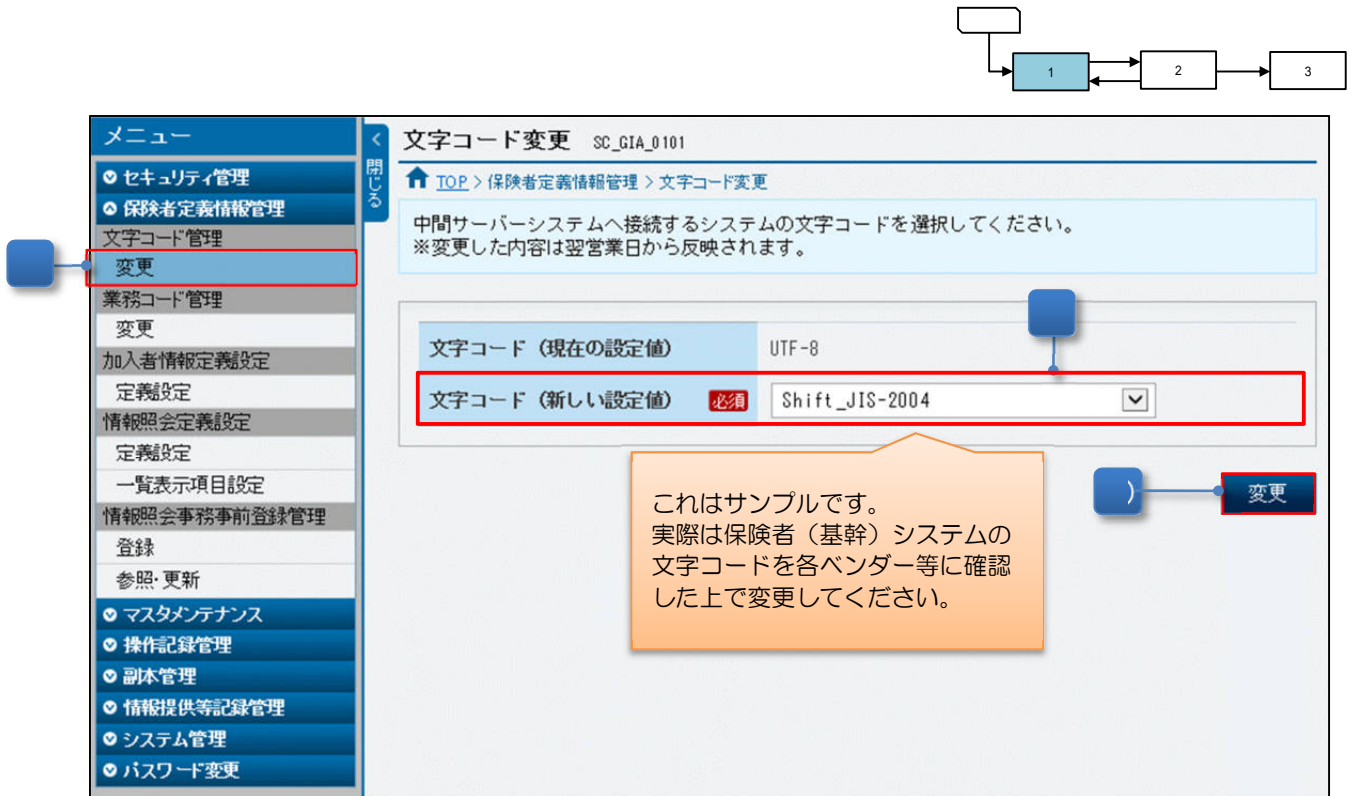


図 5-1 文字コードを更新する場合の操作の流れ

(1) 文字コードを更新する



- ① メニュー（第 2 階層）の「文字コード管理」からメニュー（第 3 階層）の「変更」をクリックすると、「図 5-2 「文字コード変更」画面」が表示されます。（参照：表 5-5、表 5-6）
- ② 更新する文字コードを選択します。
- ③ 入力した内容を確認し、「変更」ボタンをクリックすると、「図 5-3 「文字コード変更確認」画面」が表示され、入力した結果が確認できます。

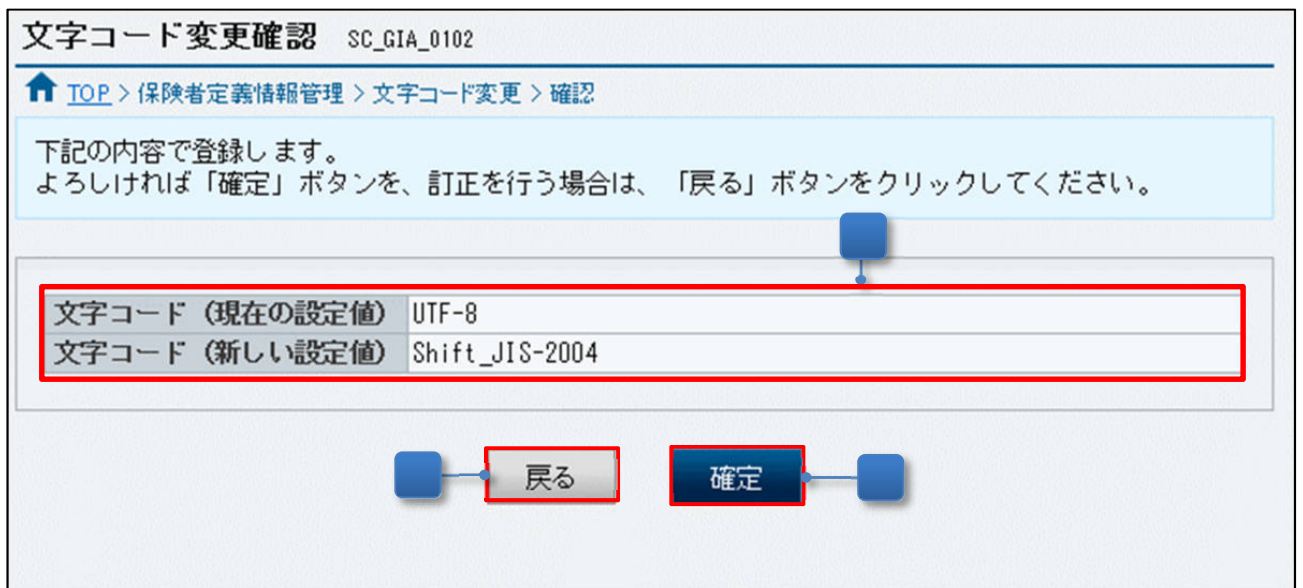
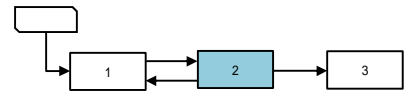


図 5-3 「文字コード変更確認」画面

- ④ 更新する文字コードが表示されます。
- ⑤ 表示された内容に誤りがないことを確認し、「確定」ボタンをクリックすると、「図 5-4 「文字コード変更結果」画面」が表示され、変更が完了します。

<入力内容を修正する場合>

- ⑥ 「戻る」ボタンをクリックすると、「図 5-2 「文字コード変更」画面」が表示されます。

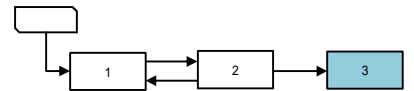


図 5-4 「文字コード変更結果」画面

- ⑦ 変更が完了したことを確認します。

なお、変更した内容は、サービス提供時間外で処理され、翌日に反映されます。文字コードを更新した当日に「加入者情報一括登録ファイル（CSV）」等の登録を行った場合、文字化け、処理エラー又は誤った変換処理が発生することがあります。

参考

表 5-5 「図 5-2 「文字コード変更」画面」項目一覧

項番	項目名	説明
1	文字コード（新しい設定値） [必須]	文字コードがリストに表示されます。リストの中から対象の文字コードを選択します。 なお、リストに表示される文字コードは「表 5-6 文字コード一覧」を参照してください。

表 5-6 文字コード一覧

項番	文字コード	説明
1	ASCII	8 bit JIS + Shift JIS 漢字
2	EBCDIC	EBCDIC + IBM 漢字 + エスケープ文字
3	SJIS 漢字	8 bit JIS + Shift JIS 漢字
4	JIS 漢字	7 bit JIS + JIS X0208
5	EUC 漢字	7 bit JIS + EUC 漢字 + EUC 半角仮名
6	IBM 漢字	EBCDIC + IBM 漢字 + エスケープ文字
7	JEF 漢字	EBCDIC + EUC 漢字 + エスケープ文字
8	KEIS 漢字	EBCDIC + EUC 漢字 + エスケープ文字
9	NEC 漢字	EBCDIC + JIPSE 漢字 + エスケープ文字
10	UNISYS 漢字	8 bit JIS + EUC 漢字コード + エスケープ文字
11	ASCII+IBM 漢字	8 bit JIS + IBM 漢字 + エスケープ文字
12	EBCDIC+JIS 漢字	EBCDIC + JIS X0208 + エスケープ文字
13	UTF-8	UNICODE (UCS-2) 日本語 1~3 バイト表現
14	UTF-16 (BE)	UNICODE (UCS-2) big-endian
15	UTF-16 (LE)	UNICODE (UCS-2) little-endian
16	Shift_JIS-2004	JIS X 0201+JIS X 0213:2004
17	ISO-2022-JP-2004	ISO/IEC 646 国際基準版 + JIS X 0213:2004+エスケープ文字
18	EUC-JIS-2004	ISO/IEC 646 国際基準版 + JIS X 0213:2004
19	後期高齢標準システムの文字コード	国民健康保険中央会から提供される「文字コード変換テーブル」を基にして文字コードを変換します。

5.3.3 業務コードを更新する

保険者（基幹）システムの更改等により、業務コードが変更された場合は、中間サーバー等に登録している業務コード情報を更新する必要があります。本節では、業務コードを更新する場合の操作を説明します。

表 5-7 業務コードを更新する場合の操作概要

項番	操作概要	事前準備内容
1	業務コードを更新する。	保険者（基幹）システムのコード値の確認

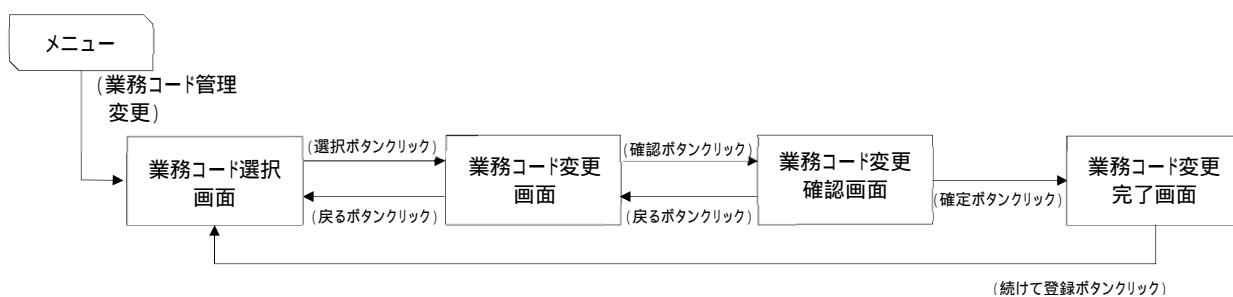


図 5-5 業務コードを更新する場合の操作の流れ

(1) 業務コードを更新する

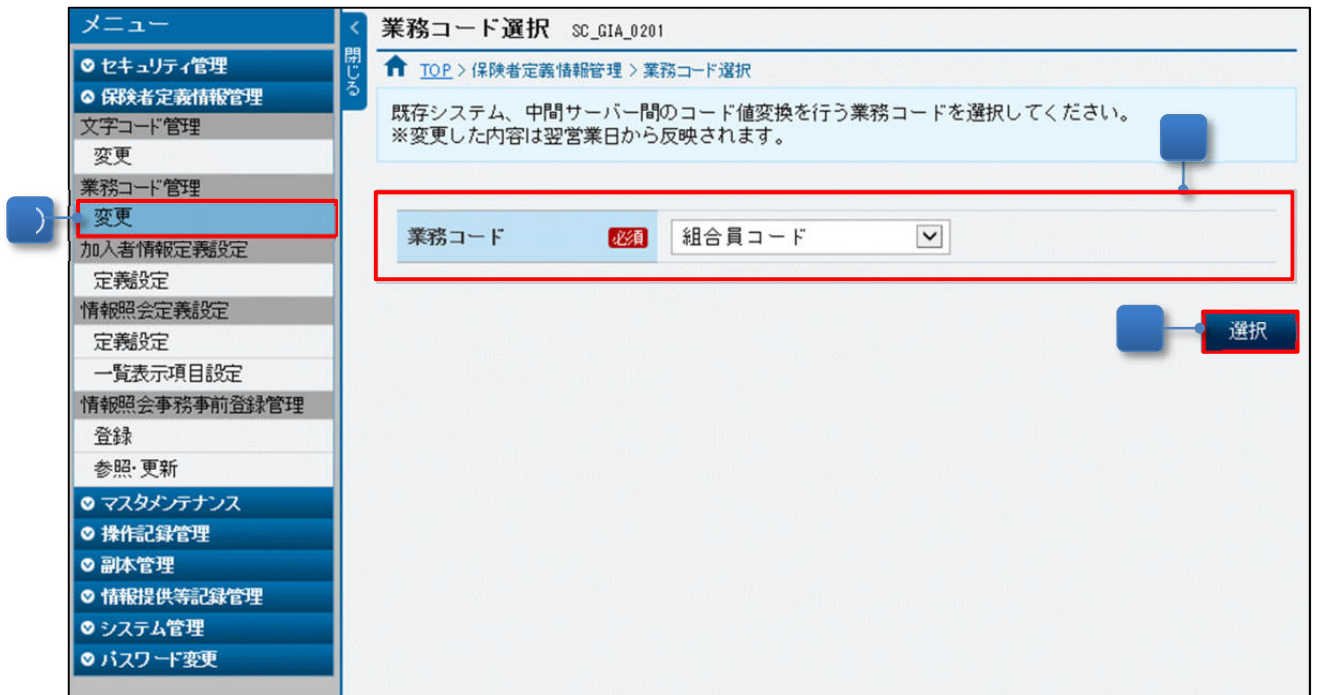
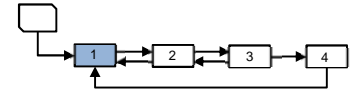
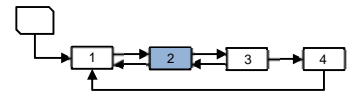


図 5-6 「業務コード選択」画面

- ① メニュー（第2階層）の「業務コード管理」からメニュー（第3階層）の「変更」をクリックすると、「図 5-6 「業務コード選択」画面」が表示されます。
（参照：表 5-8、表 5-9）
- ② 更新する「業務コード」を選択します。
- ③ 入力した内容を確認後、「選択」ボタンをクリックすると、「図 5-7 「業務コード変更」画面」が表示されます。



業務コード変更 SC_GIA_0202

TOP > 保険者定義情報管理 > 業務コード選択 > 変更

業務コード< 組合員コード >
 既存システムコード値を入力し、「確認」ボタンを、業務コード選択に戻る場合は、「戻る」ボタンをクリックしてください。

再読込

No	コード値名称	中間サーバーコード値	既存システムコード値
1	組合員	0	0
2	家族	1	1

戻る 確認

再読込

図 5-7 「業務コード変更」画面

- ④ 選択した「業務コード」の情報が表示されます。
- ⑤ 更新する「既存システムコード値」に、保険者（基幹）システムのコード値を入力します。（参照：表 5-10）
- ⑥ 入力した内容を確認後、「確認」ボタンをクリックすると、「図 5-10 「業務コード変更確認」画面」が表示されます。

<業務コードを再選択する場合>

- ⑦ 「戻る」ボタンをクリックすると、「図 5-8 確認ダイアログ」が表示されます。「OK」ボタンをクリックすると「図 5-6 「業務コード選択」画面」が表示されます。「キャンセル」ボタンをクリックすると「図 5-7 「業務コード変更」画面」に戻ります。

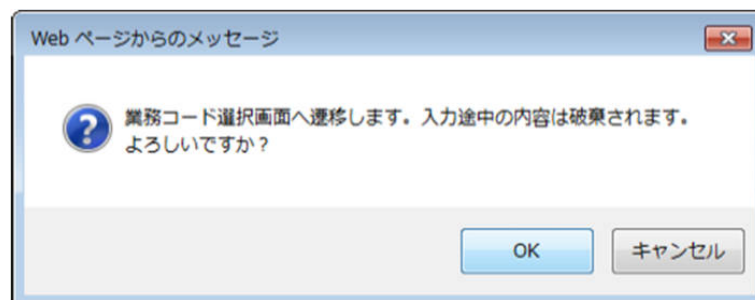


図 5-8 確認ダイアログ

<表示内容を最新状態にする場合>

- ⑧ 「再読込」ボタンをクリックすると、「図 5-9 確認ダイアログ」が表示されます。
「OK」ボタンをクリックすると、入力内容を破棄して最新状態の「図 5-7 「業務コード変更」画面」が表示されます。
「キャンセル」ボタンをクリックすると「図 5-7 「業務コード変更」画面」に戻ります。



図 5-9 確認ダイアログ

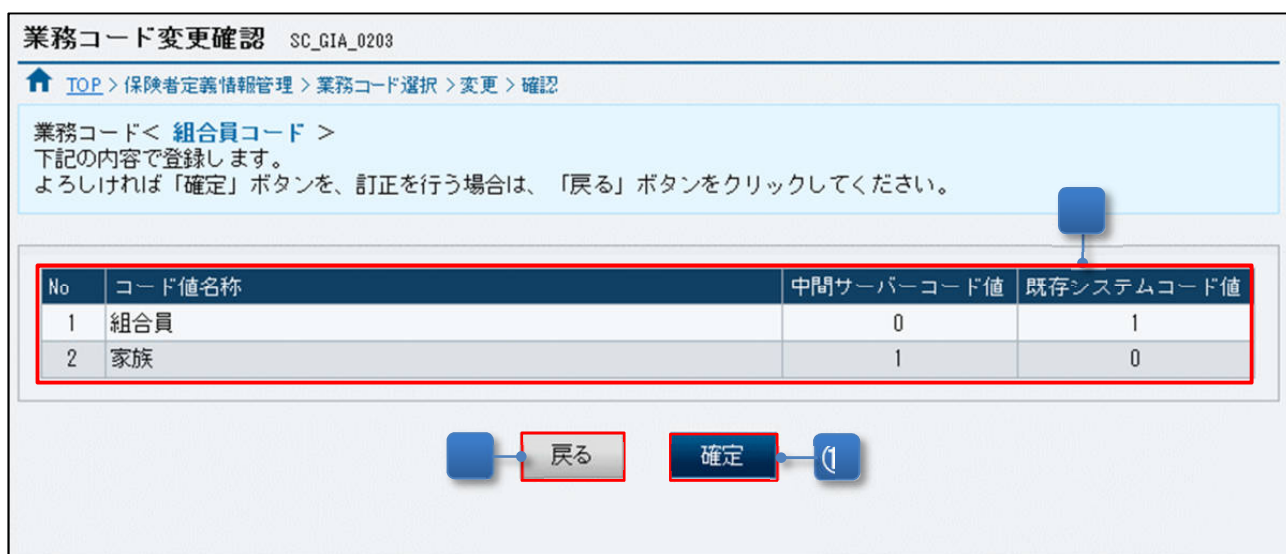
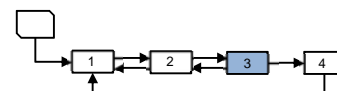


図 5-10 「業務コード変更確認」画面

- ⑨ 更新する業務コードが表示されます。
- ⑩ 表示された内容に誤りがないことを確認し、「確定」ボタンをクリックすると、「図 5-11 「業務コード変更完了」画面」が表示され、変更が完了します。

<入力内容を修正する場合>

- ⑪ 「戻る」ボタンをクリックすると、「図 5-7 「業務コード変更」画面」が表示されます。

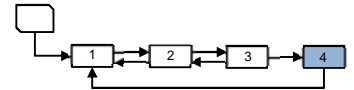


図 5-11 「業務コード変更完了」画面

- ⑫ 変更が完了したことを確認します。

なお、変更した内容は、サービス提供時間外で処理され、翌日に反映されます。業務コードを更新した当日に「加入者情報一括登録ファイル（CSV）」等の登録を行った場合、文字化け、処理エラー又は誤った変換処理が発生することがあります。

< 次の業務コードを更新する場合 >

- ⑬ 「続けて登録」ボタンをクリックすると、「図 5-6 「業務コード選択」画面」が表示されます。

参 考		
表 5-8 「図 5-6 「業務コード選択」画面」項目一覧		
項番	項目名	説明
1	業務コード 【必須】	業務コードがリストに表示されます。リストの中から対象の業務コードを選択します。 なお、リストに表示される業務コード及び「図 5-7 「業務コード変更」画面」に表示される「コード値名称」は「表 5-9 業務コード一覧」を参照してください。

表 5-9 業務コード一覧

項番	業務コード	コード値名称	外部インターフェイス仕様書 別紙 2 コード定義書参照先
1	組合員コード	<ul style="list-style-type: none"> ・組合員 ・家族 	1.2.85 組合員コード
2	証区分	<ul style="list-style-type: none"> ・被保険者証 ・短期被保険者証 ・資格証明書 	1.2.86 証区分
3	所得区分	<ul style="list-style-type: none"> ・区分ア ・区分イ ・区分ウ ・区分エ ・区分オ ・高齢者上位 ・高齢者一般 ・低所得Ⅱ ・低所得Ⅰ ・高齢者現役Ⅰ ・高齢者現役Ⅱ ・高齢者現役Ⅲ 	1.2.87 所得区分
4	一定以上負担区分コード	<ul style="list-style-type: none"> ・該当無 ・基準額以上 ・基準額未満 ・現役Ⅰ ・現役Ⅱ ・現役Ⅲ 	1.2.89 一定以上負担区分コード
5	減額区分コード	<ul style="list-style-type: none"> ・該当無 ・非課税 ・老福 ・基準額以下 	1.2.90 減額区分コード
6	受給者区分(被保険者又は被扶養者)	<ul style="list-style-type: none"> ・初期値 ・被保険者 ・被扶養者 	1.2.91 受給者区分

項番	業務コード	コード値名称	外部インターフェイス仕様書 別紙2 コード定義書参照先
7	被保険者との続柄	<ul style="list-style-type: none"> ・世帯主 ・夫 ・妻 ・夫（未届） ・妻（未届） ・子 ・子（）※ ・父 ・母 ・兄 ・弟 ・姉 ・妹 ・縁故者 ・使用人 ・同居人 ・不明 ・祖父 ・祖母 ・曾祖父 ・曾祖母 ・おじ ・おば ・甥 ・姪 ・いとこ ・空白 	1.2.88 被保険者との続柄

※1：子との婚姻関係が分かるように続柄を設定する場合に使用する。
 例）被保険者と養子縁組を行い、かつ被保険者の子と婚姻している場合等

参 考

表 5-10 「図 5-7 「業務コード変更」画面」項目一覧

項番	項目名	説明
1	既存システムコード値	全半角文字 3 文字以内で既存システムコード値を入力します。

5.4 加入者情報定義設定

「加入者情報定義設定」は、オンライン資格確認で必要となる加入者情報の項目を中間サーバーに登録できるように、旧加入者情報ファイル形式から新加入者情報ファイル形式への設定の切り替えや、加入者情報一覧ファイル（新加入者情報ファイル形式のみ）への個人番号の出力可否の設定を行います。

5.4.1 加入者登録等に利用するファイル形式を設定する

2020年6月の中間サーバー更改時点では、旧加入者情報ファイル形式が設定されています。新加入者情報ファイル形式への切り替えは、2020年10月以降に実施します。なお、新加入者情報ファイル形式への切り替え後、加入者情報を登録した場合は、旧加入者情報ファイル形式に戻すことはできません。

表 5-11 加入者情報ファイル形式を設定する場合の操作概要

項番	操作概要	事前準備内容
1	加入者情報ファイルの新旧の形式を設定する	保険者（基幹）システムのファイル形式の確認

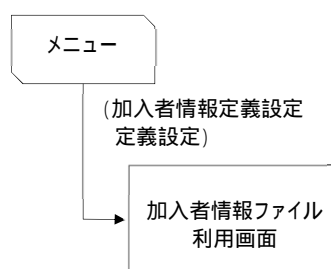
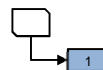


図 5-12 加入者情報ファイル形式を設定する場合の操作の流れ

(1) 加入者情報ファイルの新旧の形式を設定する



中間サーバーシステム 操作マニュアル ログイン日時: 2020/09/15 10:38 ユーザー名: 共通チーム1 ... 部署: 管理部門 ログアウト

メニュー

- セキュリティ管理
- 保険者定義情報管理
- 文字コード管理
- 変更
- 業務コード管理
- 変更
- 加入者情報定義設定
- 定義設定**
- 情報照会定義設定
- 定義設定
- 一覧表示項目設定
- 情報照会事務事前登録管理
- 登録
- 参照更新
- メンテナンス
- 操作記録管理
- 副本管理
- 情報提供等記録管理
- システム管理
- パスワード変更

加入者情報ファイル利用 SC_HIM_0601

TOP > 保険者定義情報管理 > 加入者情報定義設定 > 定義設定 > 加入者情報ファイル利用

⚠ 移行期間を過ぎています。旧加入者情報へ変更はできません。

加入者情報ファイル新旧設定

現在の設定値	旧加入者情報
新しい設定値 必須	<input type="radio"/> 旧加入者情報ファイル形式利用
	<input checked="" type="radio"/> 新加入者情報ファイル形式利用

変更

加入者情報一覧ファイル出力設定

本設定は、統合専用端末及びサーバー間連携でダウンロードする加入者情報一覧ファイル（新加入者情報ファイル形式のみ）への個人番号の出力可否を設定するものです。サーバー間連携を利用している医療保険者等は、保険者（基幹）システムへの影響の有無をシステムベンダに確認の上、設定変更を行うよう留意してください。

現在の設定値	個人番号を出力する
新しい設定値 必須	<input checked="" type="radio"/> 個人番号を出力する
	<input type="radio"/> 個人番号を出力しない

変更

図 5-13 「加入者情報ファイル利用」画面

- ①メニュー（第2階層）の「加入者情報定義設定」からメニュー（第3階層）の「定義設定」をクリックすると、「図 5-13 「加入者情報ファイル利用」画面」が表示されます。
- ②「加入者情報ファイル新旧設定」の「新しい設定値」の項目から、新たに設定するファイル形式のラジオボタンを選択します。なお、初期設定は、「旧加入者情報」になっています。
- ③入力した内容を確認し、「変更」ボタンをクリックします。

加入者情報ファイル利用 SC_HIM_0601

TOP > 保険者定義情報管理 > 加入者情報定義設定 > 定義設定 > 加入者情報ファイル利用

新加入者情報へ変更しました。

加入者情報ファイル新旧設定

現在の設定値	新加入者情報
新しい設定値 必須	<input type="radio"/> 旧加入者情報ファイル形式利用
	<input checked="" type="radio"/> 新加入者情報ファイル形式利用

変更

図 5-14 「加入者情報ファイル利用」(設定変更後)画面

- ④「図 5-14 「加入者情報ファイル利用」(設定変更後)画面」のように、情報表示部にて変更した旨のメッセージが表示され、「現在の設定値」欄が選択した設定値に更新されます。

5.4.2 加入者情報一覧ファイルへの個人番号の出力可否を設定する

加入者情報一覧ファイル出力設定とは、統合専用端末及びサーバー間連携でダウンロードする加入者情報一覧ファイル（新加入者情報ファイル形式のみ）への個人番号の出力可否を設定する機能です。サーバー間連携を利用している医療保険者等の場合は、保険者（基幹）システムへの影響の有無をシステムベンダに確認の上、設定変更を行うよう留意してください。

表 5-12 加入者情報一覧ファイル出力設定を行う場合の操作概要

項番	操作概要	事前準備内容
1	加入者情報一覧ファイルへの個人番号の出力可否を設定する	サーバー間連携を利用の医療保険者等の場合は、保険者（基幹）システムへの影響有無をシステムベンダに確認

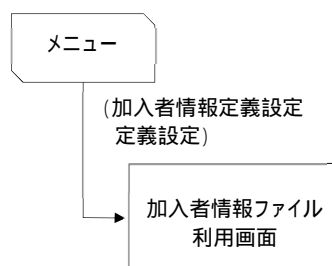


図 5-15 加入者情報一覧ファイル出力設定を行う場合の操作の流れ

(1) 加入者情報一覧ファイル出力設定を変更する

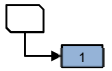


図 5-16 「加入者情報ファイル利用」画面

- ①メニュー（第2階層）の「加入者情報定義設定」からメニュー（第3階層）の「定義設定」をクリックすると、「図 5-16 「加入者情報ファイル利用」画面」が表示されます。
- ②「加入者情報一覧ファイル出力設定」の「新しい設定値」の項目から、新たに設定する設定値（「個人番号を出力する」又は「個人番号を出力しない」）のラジオボタンを選択します。なお、初期設定は、「個人番号を出力する」になっています。
- ③入力した内容を確認し、「変更」ボタンをクリックすると、「図 5-17 確認ダイアログ」が表示されます。

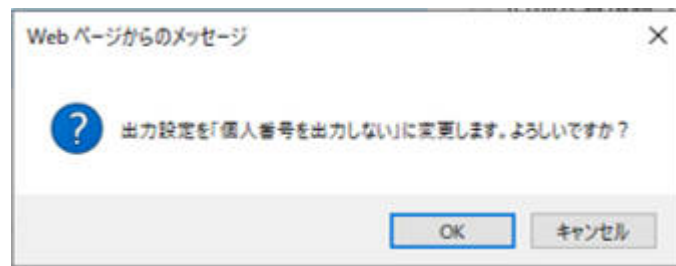


図 5-17 「確認ダイアログ」

加入者情報ファイル利用 SC_HIM_0601

TOP > 保険者定義情報管理 > 加入者情報定義設定 > 定義設定 > 加入者情報ファイル利用

個人番号を出力しないへ変更しました。

! 移行期間を過ぎています。旧加入者情報へ変更はできません。

加入者情報ファイル新旧設定

現在の設定値	新加入者情報
	<input type="radio"/> 旧加入者情報ファイル形式利用 <input checked="" type="radio"/> 新加入者情報ファイル形式利用

変更

加入者情報一覧ファイル出力設定

本設定は、統合専用端末及びサーバー間連携でダウンロードする加入者情報一覧ファイル（新加入者情報ファイル形式のみ）への個人番号の出力可否を設定するものです。サーバー間連携を利用している医療保険者等は、保険者（基幹）システムへの影響の有無をシステムベンダに確認の上、設定変更を行うよう留意してください。

現在の設定値	個人番号を出力しない
	<input type="radio"/> 個人番号を出力する <input checked="" type="radio"/> 個人番号を出力しない

変更

図 5-18 「加入者情報ファイル利用」（設定変更後）画面

- ④ 「OK」をクリックすると「図 5-18 「加入者情報ファイル利用」（設定変更後）画面」のように、情報表示部にて変更した旨のメッセージが表示され、「現在の設定値」欄が選択した設定値に更新されます。

5.5 情報照会定義設定

「情報照会定義設定」は、保険者（基幹）システムの仕様に依りて、情報照会要求ファイル及び情報照会結果ファイル形式の設定、情報照会結果一覧のダウンロードファイルの取りまとめ単位設定、情報照会結果一覧の画面表示順設定を行います。

5.5.1 情報照会に利用するファイル形式を設定する

保険者（基幹）システムの対応状況に依りて、「旧ファイル形式」又は「新ファイル形式」を設定できます。

表 5-13 照会要求/結果ファイルの形式を設定する場合の操作概要

項番	操作概要	事前準備内容
1	照会要求/結果ファイルの新旧の形式を設定する	保険者（基幹）システムのファイル形式の確認

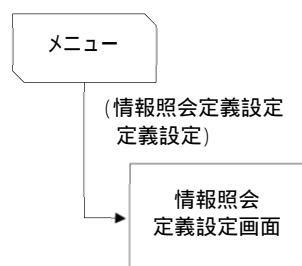
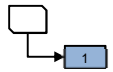


図 5-19 照会要求/結果ファイルの新旧の形式を設定する場合の操作の流れ

(1) 照会要求/結果ファイルの新旧の形式を設定する



メニュー

- セキュリティ管理
- 保険者定義情報管理
- 文字コード管理
- 変更
- 業務コード管理
- 変更
- 加入者情報定義設定
- 定義設定
- 情報照会定義設定
- 定義設定**
- 一覧表示項目設定
- 情報照会事務事前登録管理
- 登録
- 参照・更新
- マスタメンテナンス
- 操作記録管理
- 副本管理
- 情報提供等記録管理
- システム管理
- パスワード変更

情報照会 定義設定 SC_KJM_9001

TOP > 保険者定義情報管理 > 情報照会定義設定

情報照会の設定情報を選択してください。

照会要求/結果ファイル新旧設定

現在の設定値	旧ファイル形式利用
新しい設定値 必須	<input type="radio"/> 旧ファイル形式利用 (FI_KJM_0001、FI_KJM_0003、FI_KJM_0004、FI_KJM_0005) <input checked="" type="radio"/> 新ファイル形式利用 (FI_KJM_0011、FI_KJM_0016、FI_KJM_0012、FI_KJM_0013)

一覧表示/ダウンロード単位設定

現在の設定値	照会要求単位 (受付明細番号単位)
新しい設定値 必須	<input type="radio"/> 世帯単位 <input type="radio"/> 個人単位 <input checked="" type="radio"/> 照会要求単位 (受付明細番号単位)

表示順設定

現在の設定値	保険者任意コード > 世帯識別番号 > 保険者番号 > 被保険者証記号・番号・枝番
新しい設定値 必須	<input checked="" type="radio"/> 保険者任意コード > 世帯識別番号 > 保険者番号 > 被保険者証記号・番号・枝番 <input type="radio"/> 保険者任意コード > 保険者番号 > 被保険者証記号・番号・枝番 <input type="radio"/> 世帯識別番号 > 保険者番号 > 被保険者証記号・番号・枝番 <input type="radio"/> 保険者番号 > 被保険者証記号・番号・枝番

変更

図 5-20 「情報照会 定義設定」画面

- ①メニュー（第2階層）の「情報照会定義設定」からメニュー（第3階層）の「定義設定」をクリックすると、「図 5-20 「情報照会 定義設定」画面」が表示されます。
- ②「照会要求/結果ファイル新旧設定」の「新しい設定値」の項目から、変更するファイル形式のラジオボタンを選択します。
- ③入力した内容を確認し、「変更」ボタンをクリックすると、「図 5-21 確認ダイアログ」が表示されます。

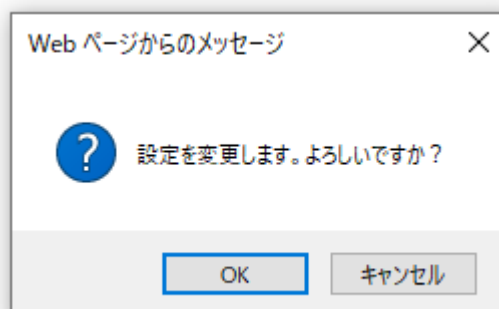


図 5-21 確認ダイアログ

メニュー	開じる	<p>情報照会 定義設定 SC_KJM_0001</p> <p>TOP > 保険者定義情報管理 > 情報照会定義設定</p> <p>情報照会の設定情報を選択してください。</p>				
● セキュリティ管理		<p>照会要求/結果ファイル新旧設定</p> <table border="1"> <tr> <td style="background-color: #0056b3; color: white;">現在の設定値</td> <td>新ファイル形式利用</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #0056b3; color: white;">新しい設定値</td> <td> <input type="radio"/> 旧ファイル形式利用(FI_KJM_0001、FI_KJM_0003、FI_KJM_0004、FI_KJM_0005) <input checked="" type="radio"/> 新ファイル形式利用(FI_KJM_0011、FI_KJM_0016、FI_KJM_0012、FI_KJM_0013) </td> </tr> </table>	現在の設定値	新ファイル形式利用	新しい設定値	<input type="radio"/> 旧ファイル形式利用(FI_KJM_0001、FI_KJM_0003、FI_KJM_0004、FI_KJM_0005) <input checked="" type="radio"/> 新ファイル形式利用(FI_KJM_0011、FI_KJM_0016、FI_KJM_0012、FI_KJM_0013)
現在の設定値	新ファイル形式利用					
新しい設定値	<input type="radio"/> 旧ファイル形式利用(FI_KJM_0001、FI_KJM_0003、FI_KJM_0004、FI_KJM_0005) <input checked="" type="radio"/> 新ファイル形式利用(FI_KJM_0011、FI_KJM_0016、FI_KJM_0012、FI_KJM_0013)					
● 保険者定義情報管理		<p>一覧表示/ダウンロード単位設定</p> <table border="1"> <tr> <td style="background-color: #0056b3; color: white;">現在の設定値</td> <td>照会要求単位(受付明細番号単位)</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #0056b3; color: white;">新しい設定値</td> <td> <input type="radio"/> 世帯単位 <input type="radio"/> 個人単位 <input checked="" type="radio"/> 照会要求単位(受付明細番号単位) </td> </tr> </table>	現在の設定値	照会要求単位(受付明細番号単位)	新しい設定値	<input type="radio"/> 世帯単位 <input type="radio"/> 個人単位 <input checked="" type="radio"/> 照会要求単位(受付明細番号単位)
現在の設定値	照会要求単位(受付明細番号単位)					
新しい設定値	<input type="radio"/> 世帯単位 <input type="radio"/> 個人単位 <input checked="" type="radio"/> 照会要求単位(受付明細番号単位)					
文字コード管理		<p>表示順設定</p> <table border="1"> <tr> <td style="background-color: #0056b3; color: white;">現在の設定値</td> <td>保険者任意コード > 世帯識別番号 > 保険者番号 > 被保険者証記号・番号・枝番</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #0056b3; color: white;">新しい設定値</td> <td> <input checked="" type="radio"/> 保険者任意コード > 世帯識別番号 > 保険者番号 > 被保険者証記号・番号・枝番 <input type="radio"/> 保険者任意コード > 保険者番号 > 被保険者証記号・番号・枝番 <input type="radio"/> 世帯識別番号 > 保険者番号 > 被保険者証記号・番号・枝番 <input type="radio"/> 保険者番号 > 被保険者証記号・番号・枝番 </td> </tr> </table>	現在の設定値	保険者任意コード > 世帯識別番号 > 保険者番号 > 被保険者証記号・番号・枝番	新しい設定値	<input checked="" type="radio"/> 保険者任意コード > 世帯識別番号 > 保険者番号 > 被保険者証記号・番号・枝番 <input type="radio"/> 保険者任意コード > 保険者番号 > 被保険者証記号・番号・枝番 <input type="radio"/> 世帯識別番号 > 保険者番号 > 被保険者証記号・番号・枝番 <input type="radio"/> 保険者番号 > 被保険者証記号・番号・枝番
現在の設定値	保険者任意コード > 世帯識別番号 > 保険者番号 > 被保険者証記号・番号・枝番					
新しい設定値	<input checked="" type="radio"/> 保険者任意コード > 世帯識別番号 > 保険者番号 > 被保険者証記号・番号・枝番 <input type="radio"/> 保険者任意コード > 保険者番号 > 被保険者証記号・番号・枝番 <input type="radio"/> 世帯識別番号 > 保険者番号 > 被保険者証記号・番号・枝番 <input type="radio"/> 保険者番号 > 被保険者証記号・番号・枝番					
変更		<input type="button" value="変更"/>				

図 5-22 「情報照会 定義設定」画面（設定変更後）

- ④ 「OK」ボタンをクリックすると、「図 5-22 「情報照会 定義設定」画面（設定変更後）」のように「現在の設定値」が更新されます。「キャンセル」ボタンをクリックすると「図 5-20 「情報照会 定義設定」画面」に戻ります。

5.5.2 情報照会結果の出力単位（世帯単位・個人単位・照会要求単位）を設定する

情報照会結果の出力単位については、加入者情報として登録している「世帯識別番号」や「記号・番号」を利用して、情報照会結果を同一世帯（世帯単位）にまとめることができます。「被保険者枝番」を利用して個人単位にまとめることも可能です。（「図 5-23 情報照会結果の出力単位イメージ」を参照）

情報照会結果の出力単位を「世帯単位」や「個人単位」に設定することで、同一世帯内又は同一個人単位内の全ての情報照会結果が揃ったものから、ダウンロードが可能となるため、世帯単位又は個人単位で保険者（基幹）システムに取り込むことができます。

なお、「照会要求単位（受付明細番号単位）」は、1 照会要求ごとの単位となるため、返却された情報照会結果を順次ダウンロードすることが可能です。

また、「世帯単位」や「個人単位」に設定することで、「情報照会状況一覧」画面に照会結果が各々の単位でまとまって表示されます。

ただし、「5.5.1（1）照会要求/結果ファイルの新旧の形式を設定する」で、「旧ファイル形式」を設定している場合は、「世帯単位」及び「個人単位」は選択できません。

詳細は、「外部インターフェイス利用ガイド（統合専用端末連携版）」の「3.2.2 情報照会・情報提供業務のインターフェイスにおける留意事項」の を参照してください。

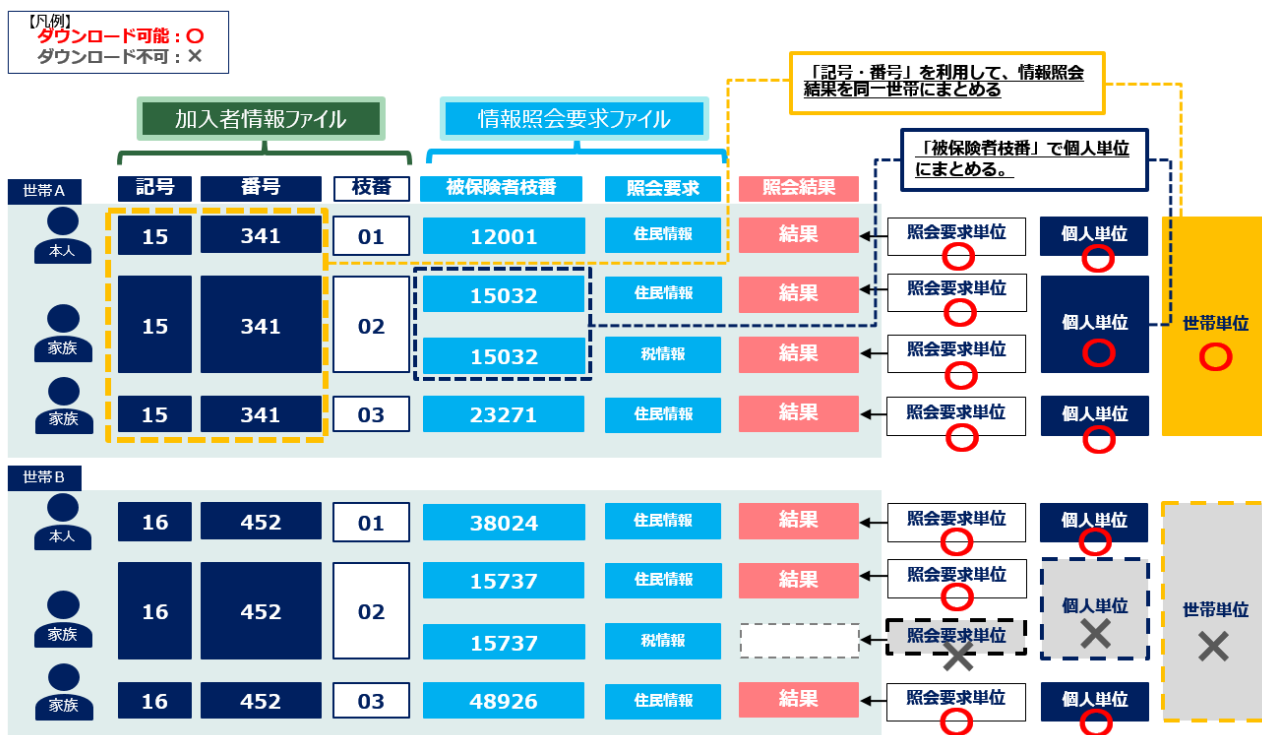


図 5-23 情報照会結果の出力単位イメージ

表 5-14 一覧表示/ダウンロードの単位を設定する場合の操作概要

項番	操作概要	事前準備内容
1	一覧表示/ダウンロードの単位を設定する	—

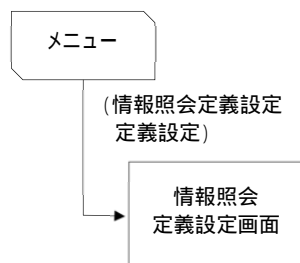


図 5-24 照会要求/結果ファイルの新旧の形式を設定する場合の操作の流れ

(1) 一覧表示/ダウンロードの単位を設定する



図 5-25 「情報照会 定義設定」画面

- ① メニュー（第 2 階層）の「情報照会定義設定」からメニュー（第 3 階層）の「定義設定」をクリックすると、「図 5-25 「情報照会 定義設定」画面」が表示されます。
- ② 「一覧表示/ダウンロード単位設定」の「新しい設定値」の項目から、変更する単位のラジオボタンを選択します。「世帯単位」、「個人単位」に設定する場合は、「照会要求/結果ファイル新旧設定」で、「新ファイル形式利用」に設定している必要があります。
- ③ 入力した内容を確認し、「変更」ボタンをクリックすると、「図 5-26 確認ダイアログ」が表示されます。

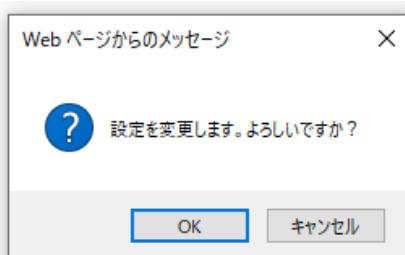


図 5-26 確認ダイアログ

中間サーバーシステム

ログイン日時: 2020/01/20 13:36
 ユーザー名: 管理 太郎 部署: システム管理 ログアウト

メニュー

- セキュリティ管理
- 保険者定義情報管理
- 文字コード管理
- 変更
- 業務コード管理
- 変更
- 加入者情報定義設定
- 定義設定
- 情報照会定義設定
- 定義設定
- 一覧表示項目設定
- 情報照会事務事前登録管理
- 登録
- 参照・更新
- メンテナンス
- 操作記録管理
- 副本管理
- 情報提供等記録管理
- システム管理
- パスワード変更

情報照会 定義設定 SC_KJM_0001

TOP > 保険者定義情報管理 > 情報照会定義設定

情報照会の設定情報を選択してください。

照会要求/結果ファイル新旧設定

現在の設定値	新ファイル形式利用
新しい設定値 必須	<input type="radio"/> 旧ファイル形式利用(FI_KJM_0001、FI_KJM_0003、FI_KJM_0004、FI_KJM_0005) <input checked="" type="radio"/> 新ファイル形式利用(FI_KJM_0011、FI_KJM_0016、FI_KJM_0012、FI_KJM_0013)

一覧表示/ダウンロード単位設定

現在の設定値	世帯単位
新しい設定値 必須	<input checked="" type="radio"/> 世帯単位 <input type="radio"/> 個人単位 <input type="radio"/> 照会要求単位(受付明細番号単位)

表示順設定

現在の設定値	保険者任意コード > 世帯識別番号 > 保険者番号 > 被保険者証記号・番号・枝番
新しい設定値 必須	<input checked="" type="radio"/> 保険者任意コード > 世帯識別番号 > 保険者番号 > 被保険者証記号・番号・枝番 <input type="radio"/> 保険者任意コード > 保険者番号 > 被保険者証記号・番号・枝番 <input type="radio"/> 世帯識別番号 > 保険者番号 > 被保険者証記号・番号・枝番 <input type="radio"/> 保険者番号 > 被保険者証記号・番号・枝番

変更

図 5-27 「情報照会 定義設定」画面（設定変更後）

- ④ 「OK」ボタンをクリックすると、「図 5-27 「情報照会 定義設定」画面（設定変更後）」のように「現在の設定値」が更新されます。「キャンセル」ボタンをクリックすると「図 5-25 「情報照会 定義設定」画面」に戻ります。

5.5.3 情報照会状況の表示の並び順を設定する

「情報照会状況一覧」画面の表示を、「保険者任意コード」、「世帯識別番号」、「保険者番号」を優先キーとして並び替えることができます。

詳細は、「外部インターフェイス利用ガイド（統合専用端末連携版）」の「3.2.2 情報照会・情報提供業務のインターフェイスにおける留意事項」の を参照してください。

5-15 表示順を設定する場合の操作概要

項番	操作概要	事前準備内容
1	表示順を設定する	—

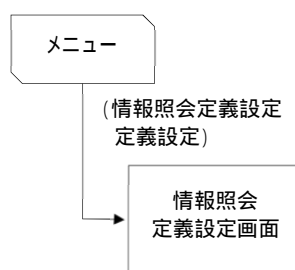


図 5-28 表示順を設定する場合の操作の流れ

(1) 表示順を設定する



図 5-29 「情報照会 定義設定」画面

- ① メニュー（第2階層）の「情報照会定義設定」からメニュー（第3階層）の「定義設定」をクリックすると、「図 5-29 「情報照会 定義設定」画面」が表示されます。
- ② 「表示順設定」の「新しい設定値」の項目から、新たに選択する表示順のラジオボタンを選択します。
- ③ 入力した内容を確認し、「変更」ボタンをクリックすると、「図 5-30 確認ダイアログ」が表示されます。

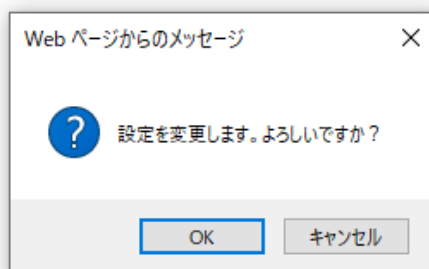


図 5-30 確認ダイアログ

メニュー ● セキュリティ管理 ● 保険者定義情報管理 文字コード管理 変更 業務コード管理 変更 加入者情報定義設定 定義設定 情報照会定義設定 定義設定 一覧表示項目設定 情報照会事務事前登録管理 登録 参照・更新 ● マスタメンテナンス ● 操作記録管理 ● 副体管理 ● 情報提供等記録管理 ● システム管理 ● パスワード変更	情報照会 定義設定 SC_KJM_9001 TOP > 保険者定義情報管理 > 情報照会定義設定 情報照会の設定情報を選択してください。				
	照会要求／結果ファイル新旧設定				
	<table border="1"> <tr> <td>現在の設定値</td> <td>新ファイル形式利用</td> </tr> <tr> <td>新しい設定値 必須</td> <td> <input type="radio"/> 旧ファイル形式利用(FI_KJM_0001、FI_KJM_0003、FI_KJM_0004、FI_KJM_0005) <input checked="" type="radio"/> 新ファイル形式利用(FI_KJM_0011、FI_KJM_0016、FI_KJM_0012、FI_KJM_0013) </td> </tr> </table>	現在の設定値	新ファイル形式利用	新しい設定値 必須	<input type="radio"/> 旧ファイル形式利用(FI_KJM_0001、FI_KJM_0003、FI_KJM_0004、FI_KJM_0005) <input checked="" type="radio"/> 新ファイル形式利用(FI_KJM_0011、FI_KJM_0016、FI_KJM_0012、FI_KJM_0013)
	現在の設定値	新ファイル形式利用			
	新しい設定値 必須	<input type="radio"/> 旧ファイル形式利用(FI_KJM_0001、FI_KJM_0003、FI_KJM_0004、FI_KJM_0005) <input checked="" type="radio"/> 新ファイル形式利用(FI_KJM_0011、FI_KJM_0016、FI_KJM_0012、FI_KJM_0013)			
	一覧表示／ダウンロード単位設定				
	<table border="1"> <tr> <td>現在の設定値</td> <td>世帯単位</td> </tr> <tr> <td>新しい設定値 必須</td> <td> <input checked="" type="radio"/> 世帯単位 <input type="radio"/> 個人単位 <input type="radio"/> 照会要求単位(受付明細番号単位) </td> </tr> </table>	現在の設定値	世帯単位	新しい設定値 必須	<input checked="" type="radio"/> 世帯単位 <input type="radio"/> 個人単位 <input type="radio"/> 照会要求単位(受付明細番号単位)
	現在の設定値	世帯単位			
	新しい設定値 必須	<input checked="" type="radio"/> 世帯単位 <input type="radio"/> 個人単位 <input type="radio"/> 照会要求単位(受付明細番号単位)			
	表示順設定				
	<table border="1"> <tr> <td>現在の設定値</td> <td>保険者任意コード > 保険者番号 > 被保険者証記号・番号・枝番</td> </tr> <tr> <td>新しい設定値 必須</td> <td> <input type="radio"/> 保険者任意コード > 世帯識別番号 > 保険者番号 > 被保険者証記号・番号・枝番 <input checked="" type="radio"/> 保険者任意コード > 保険者番号 > 被保険者証記号・番号・枝番 <input type="radio"/> 世帯識別番号 > 保険者番号 > 被保険者証記号・番号・枝番 <input type="radio"/> 保険者番号 > 被保険者証記号・番号・枝番 </td> </tr> </table>	現在の設定値	保険者任意コード > 保険者番号 > 被保険者証記号・番号・枝番	新しい設定値 必須	<input type="radio"/> 保険者任意コード > 世帯識別番号 > 保険者番号 > 被保険者証記号・番号・枝番 <input checked="" type="radio"/> 保険者任意コード > 保険者番号 > 被保険者証記号・番号・枝番 <input type="radio"/> 世帯識別番号 > 保険者番号 > 被保険者証記号・番号・枝番 <input type="radio"/> 保険者番号 > 被保険者証記号・番号・枝番
	現在の設定値	保険者任意コード > 保険者番号 > 被保険者証記号・番号・枝番			
	新しい設定値 必須	<input type="radio"/> 保険者任意コード > 世帯識別番号 > 保険者番号 > 被保険者証記号・番号・枝番 <input checked="" type="radio"/> 保険者任意コード > 保険者番号 > 被保険者証記号・番号・枝番 <input type="radio"/> 世帯識別番号 > 保険者番号 > 被保険者証記号・番号・枝番 <input type="radio"/> 保険者番号 > 被保険者証記号・番号・枝番			
	<input type="button" value="変更"/>				

図 5-31 「情報照会 定義設定」画面（設定変更後）

- ④ 「OK」ボタンをクリックすると、「図 5-31 「情報照会 定義設定」画面（設定変更後）」のように「現在の設定値」が更新されます。

「キャンセル」ボタンをクリックすると「図 5-29 「情報照会 定義設定」画面」に戻ります。

5.5.4 情報照会状況の表示項目の「表示・非表示」を設定する

「情報照会状況一覧」画面の表示項目について、「表示・非表示」のカスタマイズをすることができます。「情報照会状況一覧」画面は項目が多く、横スクロール長くなるため、使用頻度の低い項目を非表示とすることで、画面を見やすくすることができます。

表 5-16 情報照会状況の表示項目を設定する場合の操作概要

項番	操作概要	事前準備内容
1	情報照会状況の表示項目を設定する	—

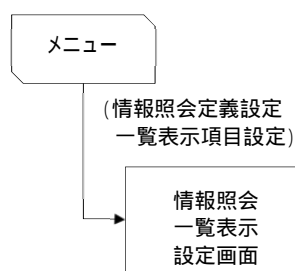
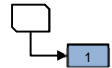


図 5-32 情報照会状況の表示項目を設定する場合の操作の流れ

(1) 情報照会状況の表示項目を設定する



メニュー

- セキュリティ管理
- 保険者定義情報管理
- 文字コード管理
- 変更
- 業務コード管理
- 変更
- 加入者情報定義設定
- 定義設定
- 情報照会定義設定
- 定義設定
- 一覧表示項目設定**
- 情報照会事務事前登録管理
- 登録
- 参照更新
- マスタメンテナンス
- 操作記録管理
- 副本管理
- 情報提供等記録管理
- システム管理
- パスワード変更

閉じる

情報照会 一覧表示設定 SC_KJM_9002

TOP > 保険者定義情報管理 > 情報照会一覧表示設定

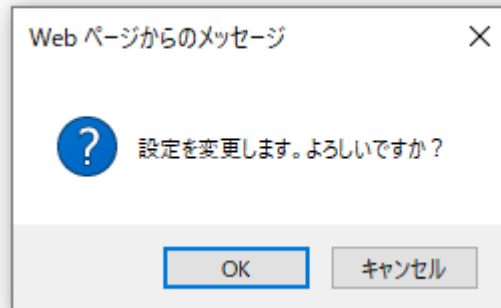
情報照会の設定情報を選択してください。

項目名		新しい設定値	現在の設定値
照会	必須	表示	表示
結果	必須	表示	表示
受付日時・完了日時		表示	表示
保険者番号		非表示	非表示
被保険者証記号・番号・扶番		表示	表示
本人・家族の別		表示	表示
氏名		表示	表示
性別		非表示	非表示
生年月日		非表示	非表示
照会ステータス	必須	表示	表示
連携操作		表示	表示
情報照会先		表示	表示
事務手続名称		非表示	非表示
情報照会責任元		非表示	非表示
保険者任意コード		非表示	非表示
世帯識別番号		非表示	非表示
加入者区分コード		非表示	非表示
受付番号・受付明細番号		非表示	非表示
被保険者扶番		非表示	非表示
特定個人情報名		非表示	非表示
照会側不開示コード		非表示	非表示
版跨り照会		非表示	非表示
取りやめの選択	必須	表示	表示
提供の求めの日時		非表示	非表示
有効期間終了日		非表示	非表示
ダウンロード状況 (単件CSV)		非表示	非表示
ダウンロード状況 (単件PDF)		非表示	非表示
ダウンロード状況 (一括CSV)		非表示	非表示
ダウンロード状況 (一括CSV・PDF)		非表示	非表示

変更

図 5-33 「情報照会 一覧表示設定」画面

- ① メニュー（第2階層）の「情報照会定義設定」からメニュー（第3階層）の「一覧表示項目設定」をクリックすると、「図 5-33 「情報照会 一覧表示設定」画面」が表示されます。
- ② 「新しい設定値」列から、「表示」または「非表示」に変更する「項目名」を選択します。
- ③ 入力した内容を確認後、「変更」ボタンをクリックすると、「図 5-34 確認ダイアログ」が表示されます。



「図 5-34 確認ダイアログ」

		(変更前)
項目名	新しい設定値	現在の設定値
受付日時・完了日時	表示 ▼	非表示
		(変更後)
項目名	新しい設定値	現在の設定値
受付日時・完了日時	表示 ▼	表示

図 5-35 「情報照会 一覧表示設定」画面（設定変更後）

- ④ 「OK」をクリックすると、「図 5-35 「情報照会 一覧表示設定」画面（設定変更後）」のように「現在の設定値」欄にて変更した結果を確認できます。

なお、各項目についての詳細は P.9-28「表 9-13 「図 9-22 「情報照会状況一覧」画面」項目一覧」をご参照ください。

参考

情報照会状況一覧 SC_KJM_0302

TOP > 情報照会 > 情報照会状況検索 > 結果一覧

検索条件
 <受付日時> 2020/01/01 00:00 ~ 2020/01/24 23:59

この画面では、【情報照会状況の確認】や【照会結果一括ダウンロード】が行えます。
 また、自治体への情報照会のうち、【符号エラー】、【提供エラー】及び【課税年度不一致】となった照会について、
 【住基照会】で住所を特定（課金あり）し、新たな情報照会先に【再照会】することができます。

・符号エラー：照会先の自治体に住所登録がないため、符号取得されていない
 ・提供エラー：照会先の自治体に住所登録はあるが、該当の特定個人情報が登録されていない
 ・課税年度不一致：照会先の自治体が以前の住所であったため、取得した個人住民税情報の課税年度が照会年度と不一致になった

検索条件 照会結果一括ダウンロード CSV CSV/PDF すべて 「未」のみ 「済」のみ 住基照会 符号エラー 提供エラー 課税年度不一致 再照会

・ステータスの絞り込みを行います。ステータスを選択後、「再絞り」を押下してください。

再絞り

要求登録済 情報照会待機中 取りやめ済
 取りやめ完了 照会結果変更（一部） 照会結果変更（すべて）
 照会結果変更（提供エラー） 照会結果変更（課税年度不一致） 照会結果確認完了
 符号エラー エラー

(全件数: 1件)
 1件中1-1件を表示中 表示件数 20件 変更

No.	照会	結果	記号 番号 (枝番)	本人・家族の別	氏名	照会ステータス	連携 操作	情報照会先	取りやめ 選択
1	照会	結果	10-101		伊藤 1子	要求登録済	初回	北海道札幌市	<input type="checkbox"/>

図5-36「情報照会状況一覧」画面の表示の一例

No.	照会	結果	受付日時 (完了日時)	記号 番号 (枝番)	本人・家族の別	氏名	照会ステータス	連携 操作	情報照会先	取りやめ 選択
1	照会	結果	2020/01/23 17:42:13	10-101		伊藤 1子	要求登録済	初回	北海道札幌市	<input type="checkbox"/>

図5-36「情報照会状況一覧」画面の表示の一例

- ⑤ 「図5-33 情報照会 一覧表示設定」画面で「表示」と設定した項目については、業務担当者が情報照会で利用する「情報照会状況一覧」の表示項目として反映されます。

なお、「図5-36「情報照会状況一覧」画面の表示の一例」は、「受付日時（完了日時）」の項目を、「非表示」から「表示」に変更した例です。

情報照会状況一覧の詳細は、P.9-23「9.4.1 情報照会の結果等を確認する」をご参照ください。



情報照会定義設定の一例を以下に示します。

保険者業務の特性に応じて情報照会定義設定の設定内容を検討してください。



表5-17 情報照会定義設定の一例

利用ケース（一例）				5.5.1 照会要求 / 結果ファイル 新旧設定	5.5.2 一覧表示 / ダウンロード 単位設定	5.5.3 表示順設定	新情報照 会要求フ ァイルの 保険者任 意コード の設定	新加入者 情報ファ イルの世 帯識別番 号の設定	
基幹システムが新ファイル形式に対応できている	処理対象を担当部署や担当者で絞り込みたい	令和2年10月以降	被扶養者の検認業務や保険料の賦課業務等で利用する	CSV/PDFを利用	新ファイル形式	世帯単位	保険者任意コード > 世帯識別番号 > 保険者番号 > 被保険者証記号・番号・枝番	必要	必要
				CSVのみを利用					加入者の世帯員を照会する 加入者の世帯員は照会しない
	令和2年6月～9月 新加入者情報ファイルが改正法施行日まで利用できないため	被扶養者の検認業務や保険料の賦課業務等では利用しない（主に給付業務で利用する）	個人単位 又は 照会要求単位	保険者任意コード > 保険者番号 > 被保険者証記号・番号・枝番	不可				
			世帯単位	世帯識別番号 > 保険者番号 > 被保険者証記号・番号・枝番	必要				
基幹システムが新ファイル形式に対応できていない	処理対象を担当部署や担当者で絞り込まない	令和2年10月以降	被扶養者の検認業務や保険料の賦課業務等で利用する	CSV/PDFを利用	旧ファイル形式	照会要求単位	保険者番号 > 被保険者証記号・番号・枝番	不可	必要
				CSVのみを利用					加入者の世帯員を照会する 加入者の世帯員は照会しない
	令和2年6月～9月 新加入者情報ファイルが改正法施行日まで利用できないため	被扶養者の検認業務や保険料の賦課業務等では利用しない（主に給付業務で利用する）	個人単位 又は 照会要求単位	保険者番号 > 被保険者証記号・番号・枝番	不可				
			世帯単位	世帯識別番号 > 保険者番号 > 被保険者証記号・番号・枝番	必要				

5.6 情報照会事務事前登録管理

「情報照会事務事前登録管理」は、利用頻度の高い事務手続を、あらかじめ管理者が事前登録しておき、業務担当者が情報照会（単件照会）を行う際に、その登録内容をプルダウンで表示させる機能です。

5.6.1 情報照会（単件）の事務手続を絞り込むキーワードを事前登録する

情報照会（単件照会）の「情報照会内容入力」画面にて、「事務名称」または「事務手続名称」を検索するためのキーワード（事前登録名称）と利用頻度の高い「事務名称」及び「事務手続名称」の組み合わせを事前登録します。管理者が事前登録することで、業務担当者がキーワード（事前登録名称）をプルダウンから選択することが可能となり、情報照会対象の事務手続を簡単に指定することができます。

また、登録した事務手続を一覧で確認することもできます。

表 5-18 情報照会の事務手続を事前に設定する場合の操作概要

項番	操作概要	事前準備内容
1	情報照会の事務手続を事前に登録する	登録するキーワードの確認
2	登録内容を参照・更新・削除する	登録済みのキーワードの確認

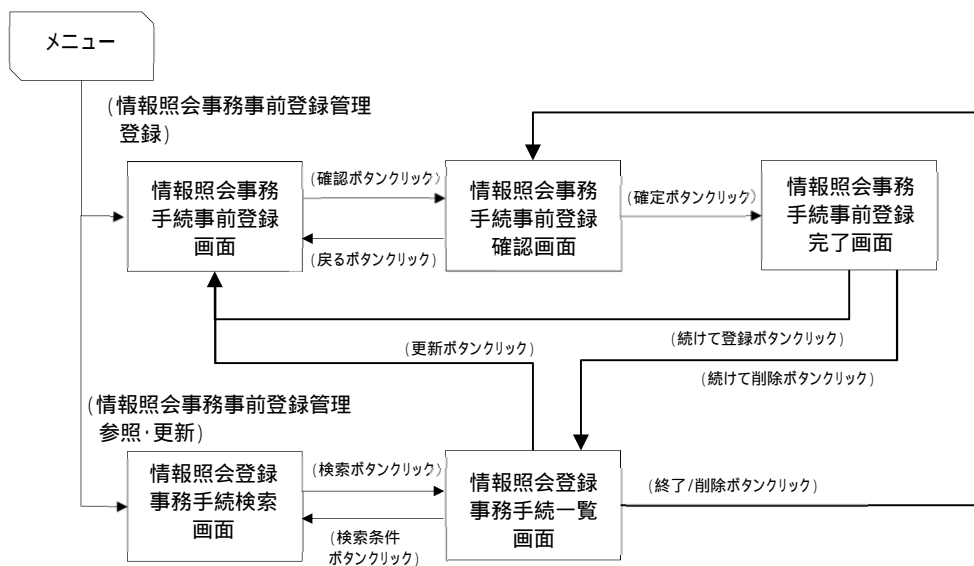


図 5-37 情報照会の事務手続を事前に設定する場合の操作の流れ

(1) 情報照会の事務手続を事前に登録する

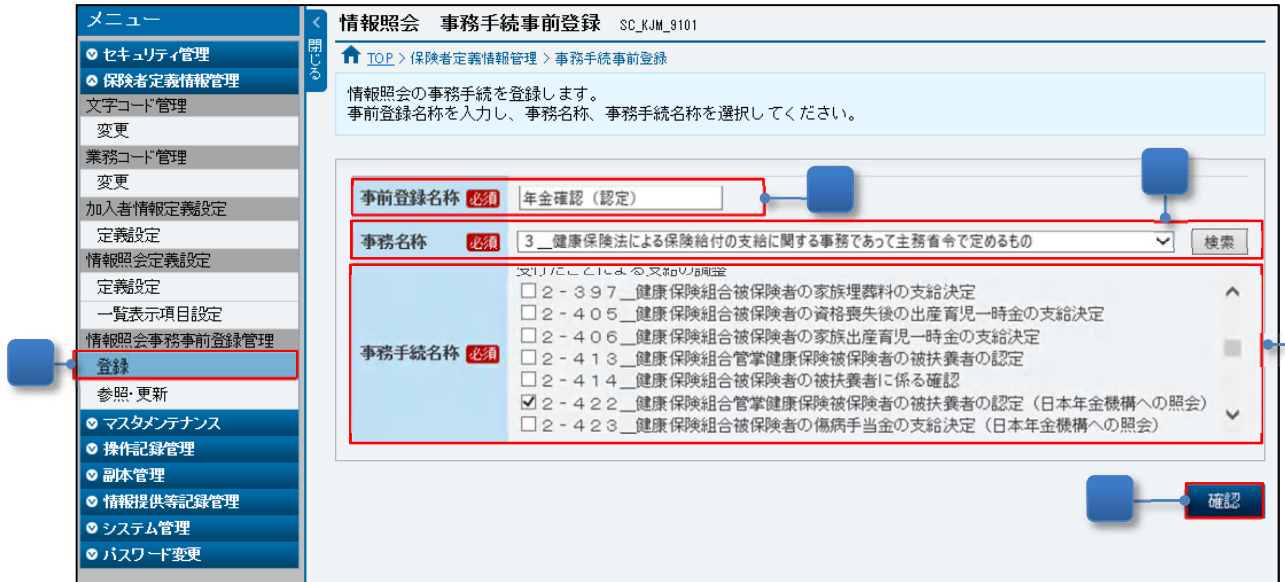
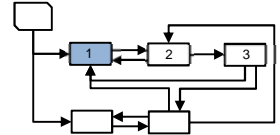


図 5-38 「情報照会 事務手続事前登録」画面

- ① メニュー（第 2 階層）の「情報照会事務事前登録管理」からメニュー（第 3 階層）の「登録」をクリックすると、「図 5-38 「情報照会 事務手続事前登録」画面」が表示されます。
- ② 「事前登録名称」欄には、業務担当者が情報照会（単件登録）する際に、プルダウンで表示させる任意の名称（キーワード）を入力します。
- ③ 「事務名称」欄の▼をクリックし、「番号法別表第 2」に基づく情報照会者ごとに該当する事務名称を選択し、検索ボタンをクリックします。
- ④ 「事務手続名称」欄に表示された、②で入力した事務を行う際に情報照会する事務手続名（データ標準レイアウトによって定められた事務手続名）を選択します。
- ⑤ 確認ボタンをクリックすると「図 5-39 「情報照会 事務手続事前登録確認」画面」が表示されます。

情報照会 事務手続事前登録確認 SC_KJM_9104

TOP > 保険者定義情報管理 > 事務手続事前登録 > 確認

下記の内容で登録します。
よろしければ「確定」ボタンを、訂正を行う場合は、「戻る」ボタンをクリックしてください。

事前登録名称	年金確認 (認定)
事務コード	JM0100000003000
事務名称	3_健康保険法による保険給付の支給に関する事務であって主務省令で定めるもの [JT00020000000422] 2-422_健康保険組合管掌健康保険被保険者の被扶養者の認定 (日本年金機構への照会)
事務手続名称	

戻る 確定

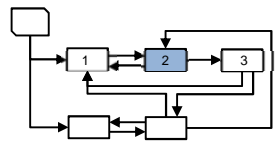


図 5-39 「情報照会 事務手続事前登録確認」画面

- ⑥ 内容を確認し、確定ボタンをクリックすると「図 5-40 「情報照会 事務手続事前登録完了」画面」が表示されます。

情報照会 事務手続事前登録完了 SC_KJM_9105

TOP > 保険者定義情報管理 > 事務手続事前登録 > 完了

登録が完了しました。
続けて登録を行う場合は、「続けて登録」ボタンをクリックしてください。

事前登録名称	年金確認 (認定)
事務コード	JM0100000003000
事務名称	3_健康保険法による保険給付の支給に関する事務であって主務省令で定めるもの [JT00020000000422] 2-422_健康保険組合管掌健康保険被保険者の被扶養者の認定 (日本年金機構への照会)
事務手続名称	

続けて登録

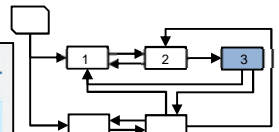


図 5-40 「情報照会 事務手続事前登録完了」画面

- ⑦ 続けて登録する場合は、「続けて登録」ボタンをクリックすると「図 5-38 「情報照会 事務手続事前登録」画面」が表示されます。

参考

メニュー

- 加入者情報管理
- 副本管理
- 情報照会
- 情報照会登録
- 登録
- 要求ファイル登録
- 要求ファイル登録結果一覧
- 情報照会状況
- 検索
- 再照会(往基照会后)
- 検索
- 情報提供
- 自己情報提供
- 不可フラグ等設定
- 情報提供等記録管理
- 往基照会
- 業務縮小情報
- システム管理
- パスワード変更

情報照会内容入力 SC_KJM_0101

TOP > 情報照会 > 情報照会内容入力

「情報提供等記録の開示/不開示(照会者)」の項目で不開示を設定した場合、第三者等からの開示請求に対し、情報提供等記録を開示することができなくなります。

被保険者枝番 必須 加入者選択 加入者情報

保険者任意コード 加入者情報

事務名称又は事務手続名称を入力して検索を行い、情報照会を行う事務、事務手続、特定個人情報の組み合わせを選択してください。

事前登録名称	同一世帯確認(認定)	検索
事務名称	非課税確認(認定)	検索
事務手続名称	年金確認(認定)	検索

選択 必須	事務コード	事務名称
<input type="radio"/>	事務手続コード	事務手続名称
<input type="radio"/>	特定個人情報コード	特定個人情報名称

<input type="radio"/>	JMO100000003000	健康保険法による保険給付の支給に関する事務であって主務省令で定めるもの
<input type="radio"/>	JT0002000000185	健康保険組合等健康保険被保険者の被扶養者の認定
<input type="radio"/>	TMO0000000000002	地方税法その他の地方税に関する法律に基づく条例の規定により算定した税額若しくはその算定の基礎となる事項に関する情報

図5-41 「情報照会内容入力」画面

- ⑧ 「図5-38 「情報照会 事務手続事前登録」画面で設定した登録内容は、業務担当者が情報照会(単件照会)を行う際に利用する、「図5-41 情報照会内容入力」画面」の、「事前登録名称」欄のプルダウンに表示されます。そのリストから選択することで、事務手続等の選択に時間を要することなく単件照会を行うことが可能となります。情報照会内容入力の詳細は、P.9-3 「9.3.1 情報照会内容を登録する(単件照会)」をご参照ください。

(2) 登録内容を参照・更新・削除する

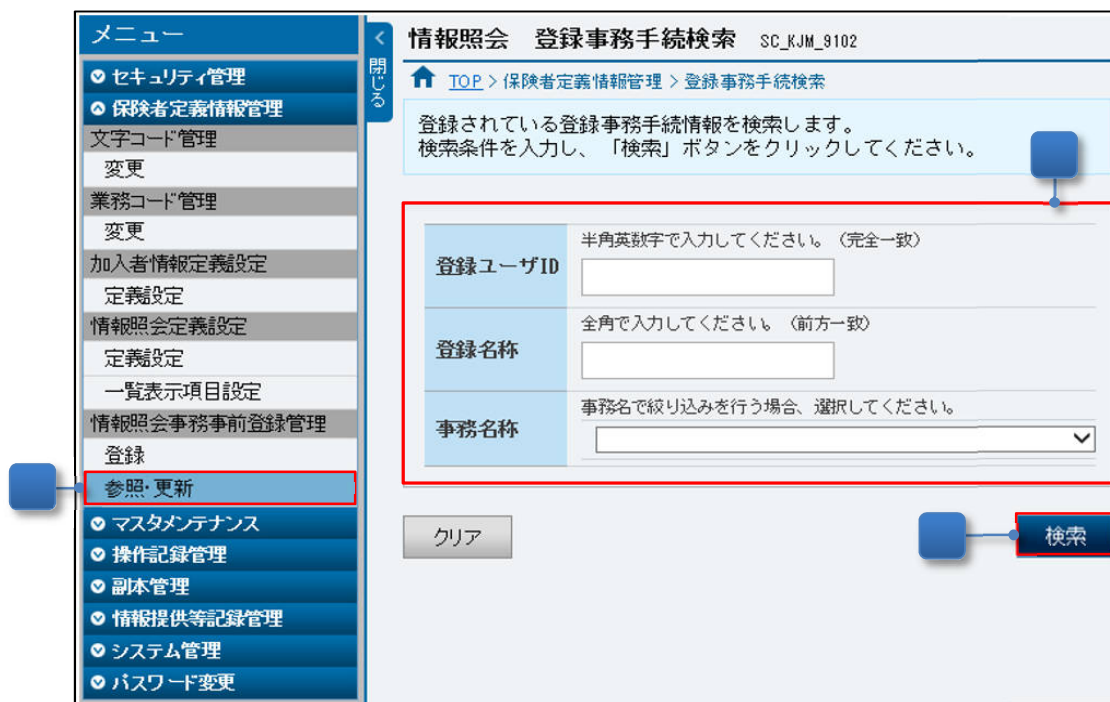
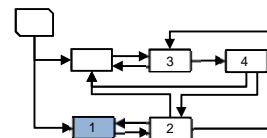


図 5-42 「情報照会 登録事務手続検索」画面

- ① 事前登録した事務手続情報を参照する場合は、メニュー（第2階層）の「情報照会事務事前登録管理」からメニュー（第3階層）の「参照・更新」をクリックし、「図 5-42 「情報照会 登録事務手続検索」画面」を表示します。
- ② 登録した事務手続を特定するための検索条件を入力します。
- ③ 入力内容を確認し、「検索」ボタンをクリックすると、「図 5-43 「情報照会 登録事務手続一覧」画面」を表示します。

検索条件を指定せずに「検索」ボタンをクリックすると、登録されているすべての事務手続情報が表示されます。

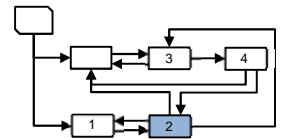


図 5-43 「情報照会 登録事務手続一覧」画面

- ④ 参照、更新、削除する登録情報のラジオボタンを選択します。

<登録内容を参照、更新する場合>

- ⑤ 登録内容を参照、更新する場合、「更新」ボタンをクリックすると、「図 5-38 情報照会 事務手続事前登録」画面が表示されます。

なお、登録内容を変更する場合は、表示された「事前登録名称」、「事務名称」及び「事務手続名称」の内容を変更し、5.6.1の「(1) 情報照会の事務手続を事前に登録する」の⑤以降の手順を行うことで、内容を更新することができます。

<登録内容を削除する場合>

- ⑥ 登録内容を削除する場合、「終了/削除」ボタンをクリックすると、「図 5-44 情報照会 事務手続事前登録確認」画面が表示されます。

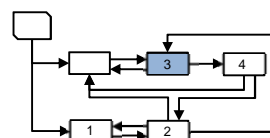
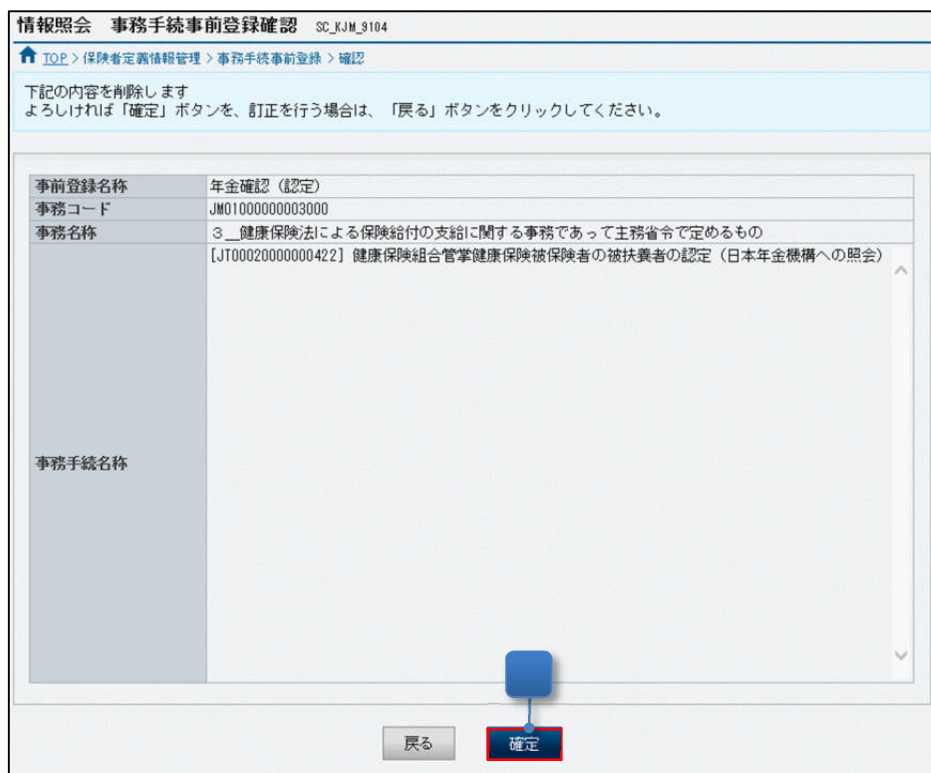


図 5-44 「情報照会 事務手続事前登録確認」画面

- ⑦ 「確定」ボタンをクリックすると「図 5-45 「情報照会 事務手続事前登録完了」画面」が表示されます。

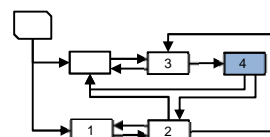
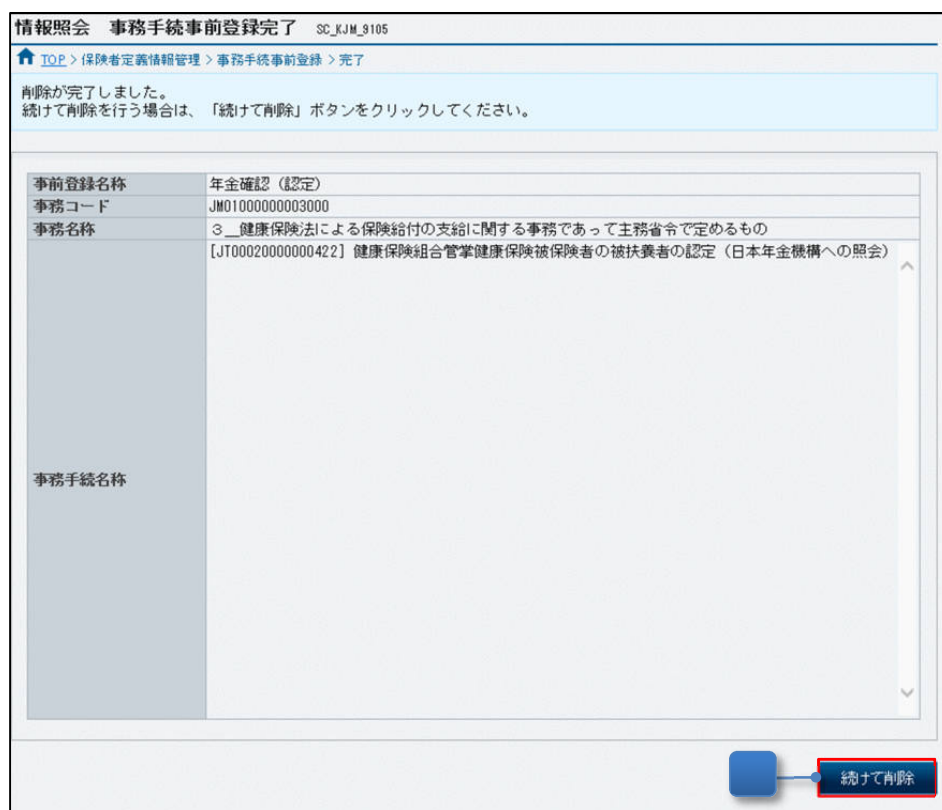


図 5-45 「情報照会 事務手続事前登録完了」画面

- ⑧ 続けて削除する場合は「続けて削除」ボタンをクリックし、「図 5-43 「情報照会 登録事務手続一覧」画面」に戻り、同じ手順で削除します。

参 考

表 5-19 「図 5-42 「情報照会 登録事務手続検索」画面」項目一覧

項番	項目名	説明
1	登録ユーザ ID	検索する事務手続情報を登録したユーザの ID を入力します。(完全一致)
2	登録名称	事前登録した登録名称を入力します。(前方一致)
3	事務名称	事務名称で絞り込む場合、ドロップリストから選択します。